

## 令和 6 年度（2024 年度） 第 9 回小原地域会議 会議録

開催日時	令和 7 年 1 月 7 日（火）	開会	閉会
		午後 6 時 30 分	午後 8 時 30 分
会 場	小原支所 第 2 会議室		
出席者	委 員	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、成瀬友昭、景山卓己、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、無州麻美、安藤茂則、鈴木孝典、濱辺誠一	
欠席者	小出透、大林鐘次、岡田錬治、板倉正則		
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 参考事例紹介（ラリージャパン実行委員会 山田氏） 4 閉 会		

### 【内容】

- 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 参考事例紹介（ラリージャパン実行委員会 山田氏）
    - 自己紹介
    - 事業内容
    - 事例紹介：里山エリアとのサッカー合宿を通じた取り組みについて
  
    - 山田氏の話聞いて
- おぼらみらいプラン重点事業、生活文化交流拠点事業についての話し合い

#### <里の駅について>

- ・自分としては、とにかくスピードを上げてやっていく必要があると感じる。
- ・やってみたい、ワクワク、楽しいという気持ちを持ってやっていくのが大切
- ・小原の子供達がイベントで外の子供達と交流できるのはとても良いことだと思う・やっ  
と絵が描かれて進んできた。軸が決まれば向かっていける。里の駅として何をやるのかと  
いうのを決めて、動きたい。
- ・「地域会議プロデュース」でまず何か初めてみるのはどうか？ここで話しているだけでは  
なく動いていきたい。
- ・今日話に出た合宿でもなんでもいいので一つやってみる、そこで気持ちが動き、学びが  
生まれる。話しているだけではなく、アクションを起こしていき、「楽しさ」「面白さ」「巻  
き込み方」などやりながら知見や経験値を増やしていくことが必要と感じた。

・「絵に描いた餅」を部分的にリアルに見せていくなどがいいかもしれない。例えば、食であれば試食会。ちょっとやってみることで「もっとこっちの方が面白いんじゃない？」も出てくる。

・小原ならではのサッカー合宿をつくりあげるとしたら、僕だったらスケジュールに「田植え体験」を提案できる、と具体的にイメージが湧いた。

・「企画運営をする人」と「施設を管理する人」が大切だと改めて感じた。企画は観光協会、運営はシルバー人材センターに委託するなど、その辺りをこの場で話し、具体的にしていくことも必要と感じた。

・今日山田さんの話を聞き、外からの力を借りることの意義を体感できた。

<地域との連携、関係性>

・小原全体でみんなが「里の駅楽しみだね！」となるようなムーブメントにしていきたい

・もっと地域に宣伝してもらうことで、自分たち委員にもプレッシャーがかかる。住民からも「いつできるの？」とプレッシャーがかかってくると、それが動かす力になる。

#### 4 閉会

(会長) 次回はショールーム(情報発信拠点)に置きたいヒト・コト・モノは何か?を話し合しましょう

#### ■次回日程

第10回定例会 2月4日(火) 午後18時30分~20時30分

支所2階第1会議室

---